

# 2023年9月期 決算説明会

Financial results briefing materials for the fiscal year ended September 2023

2023年12月1日

Circulate  
the possibilities



株式会社アサカ理研

証券コード：5724

1. 2023年9月期 決算報告
2. 2024年9月期 通期見通し
3. 株主還元
4. LiB再生事業進捗

1. 2023年9月期 決算報告
2. 2024年9月期 通期見通し
3. 株主還元
4. LiB再生事業進捗

# 連結損益計算書



	22年9月期 実績 (A)	23年9月期 実績(B)	(百万円)	
			前期比	
			(B-A)	(B-A)/A
売上高	8,592	<b>8,285</b>	▲ 307	▲3.6%
営業利益	815	<b>395</b>	▲ 420	▲51.6%
経常利益	776	<b>386</b>	▲ 390	▲50.3%
(利益率)	9.0%	<b>4.7%</b>	▲4.4pt	
親会社株主に帰属する当期純利益	622	<b>307</b>	▲ 315	▲50.6%
1株あたりの当期純利益(円)	122.7	<b>61.27</b>	▲ 61	▲50.1%

売上高 : 貴金属取扱数量の減少等により減収

営業利益 : 売上高の減少及び電気料、薬品費等の経費増により減益

# 各セグメント別実績



(百万円)

		22年9月期	23年9月期	前期比	
		(A)	(B)	(B-A)	(B-A)/A
売上高	貴金属事業	7,246	<b>7,033</b>	▲ 213	▲2.9%
	環境事業	1,148	<b>1,036</b>	▲ 112	▲9.7%
	システム事業	179	<b>196</b>	17	9.4%
セグメント利益	貴金属事業	590	<b>327</b>	▲ 263	▲44.6%
	環境事業	139	<b>13</b>	▲ 126	▲90.3%
	システム事業	33	<b>26</b>	▲ 7	▲22.2%

間接部門の経費負担増により、それぞれの事業において減益

# 連結貸借対照表



(百万円)

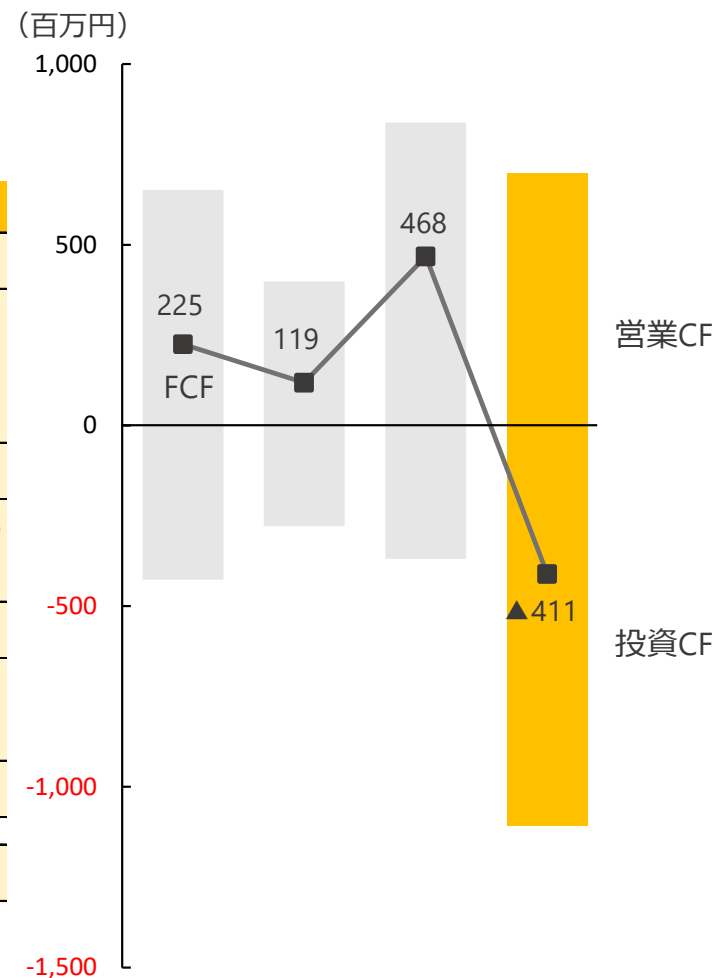
	22年9月期 (A)	23年9月期 (B)	増減 (B-A)	要因
資産合計	7,885	<b>8,348</b>	463	
流動資産合計	4,252	<b>3,814</b>	▲ 438	現金及び預金 ▲208百万円
固定資産合計	3,632	<b>4,534</b>	902	
有形固定資産	3,259	<b>4,097</b>	838	建設仮勘定 +682百万円
無形固定資産	34	<b>69</b>	35	
その他	339	<b>366</b>	27	
負債合計	3,767	<b>4,092</b>	325	借入金合計 +438百万円
流動負債	2,185	<b>2,301</b>	116	
固定負債	1,582	<b>1,790</b>	208	
純資産合計	4,118	<b>4,255</b>	137	利益剰余金 +226百万円、自己株式の取得 ▲117百万円
自己資本比率	51.7	<b>50.44</b>	▲ 1.26	
D/Eレシオ（負債資本倍率）	0.51	<b>0.63</b>	0.12	

LiB再生事業にかかるいわき工場への設備投資に伴い、  
建設仮勘定・借入金が増加し現預金及び預金が減少

# 連結キャッシュ・フロー計算書

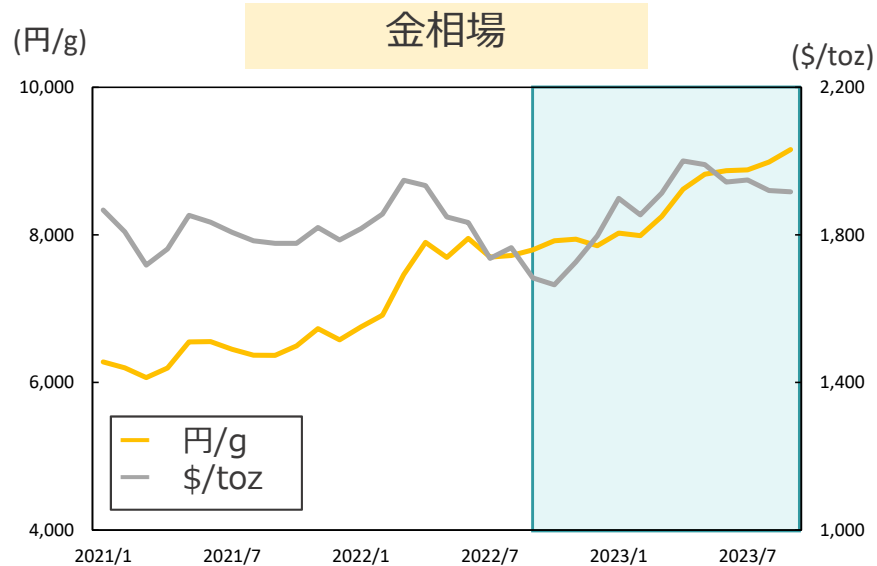


	20年9月期	21年9月期	22年9月期	(百万円) 23年9月期
営業活動によるCF	652	399	838	<b>697</b>
税前当期純利益	123	425	802	<b>386</b>
減価償却費	233	227	232	<b>271</b>
その他	294	▲ 253	▲ 196	<b>39</b>
投資活動によるCF	▲ 427	▲ 279	▲ 369	▲ <b>1,108</b>
有形固定資産の取得	▲ 425	▲ 265	▲ 589	▲ <b>1,054</b>
その他	▲ 1	▲ 14	219	▲ <b>53</b>
財務活動によるCF	377	▲ 274	▲ 179	<b>202</b>
借入金借入・返済収支	470	▲ 211	▲ 120	<b>438</b>
その他	▲ 92	▲ 63	▲ 58	▲ <b>235</b>
現金及び現金同等物	1220	1054	1346	<b>1,138</b>
フリーCF	225	119	468	▲ <b>411</b>

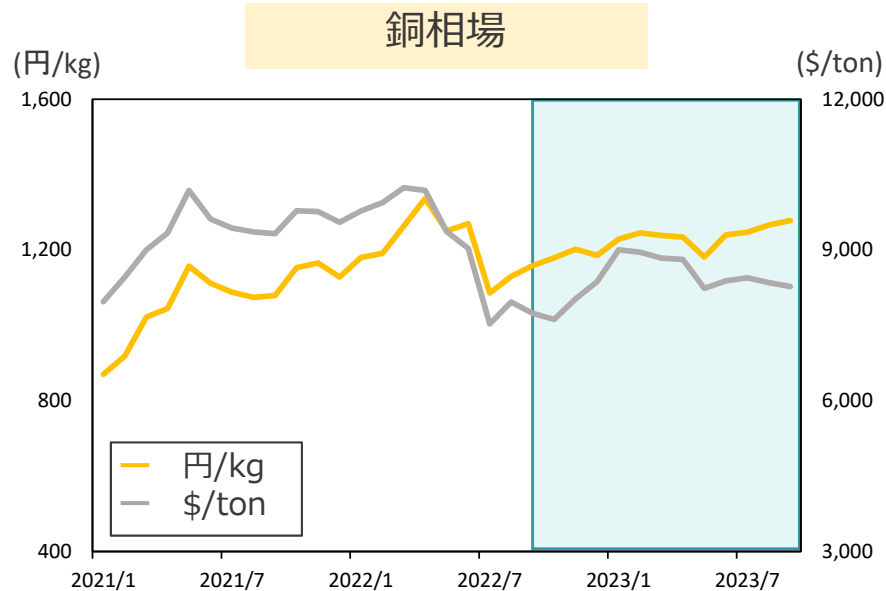


1. 2023年9月期 決算報告
2. 2024年9月期 通期見通し
3. 株主還元
4. LiB再生事業進捗





- 推移傾向
  - ・ 需要の高まりと円安ドル高  
⇒ 史上最高値圏で推移した
- 見通し
  - ・ 昨年度と同水準で推移する見通し

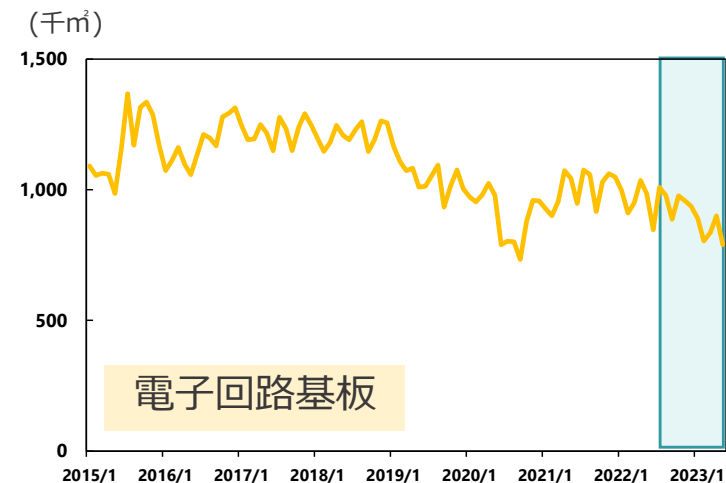
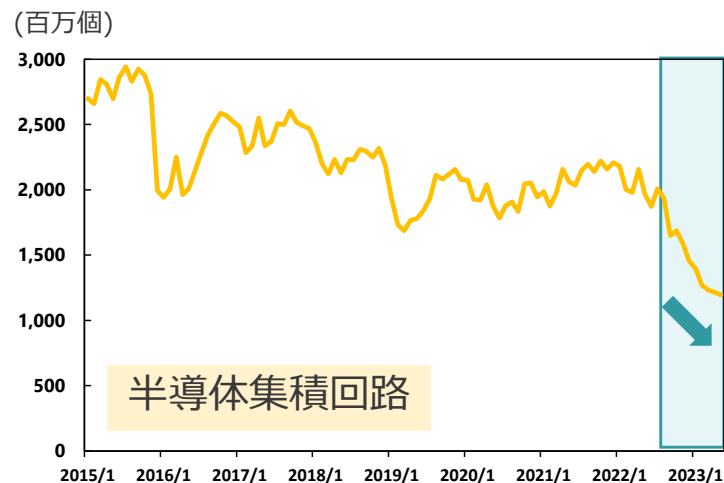
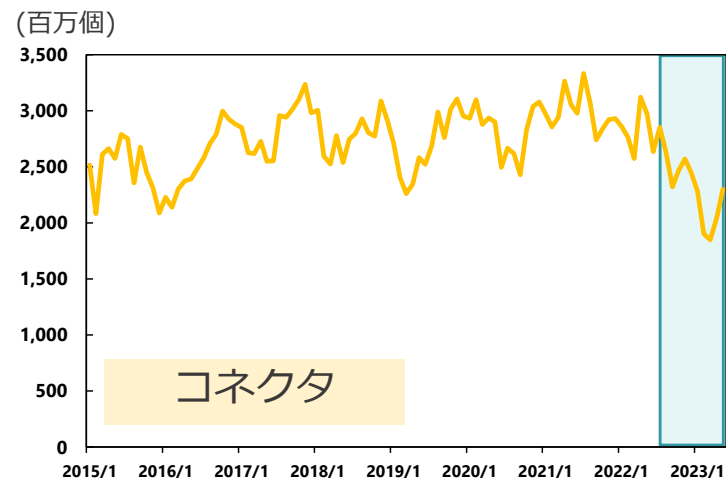
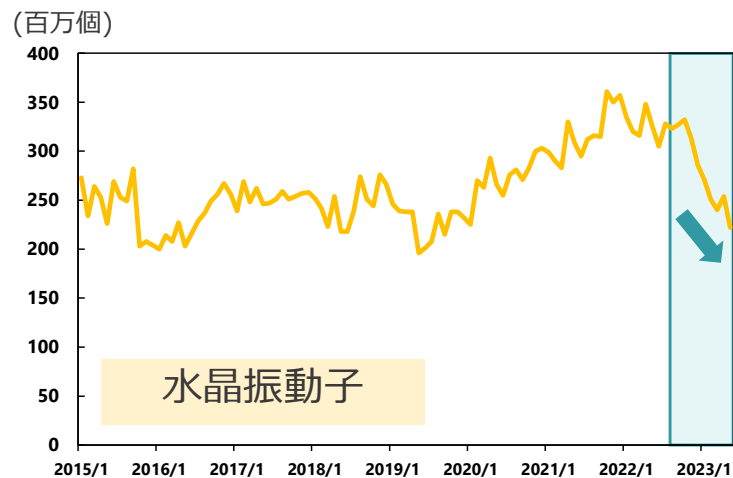


- 推移傾向
  - ・ 需要は低下したが、円安ドル高が継続  
⇒ 2022年9月期と同水準で推移した
- 見通し
  - ・ 昨年度をやや下回る見通し

2023年9月期 範囲

# 業界別生産動向

2023年9月期 範囲



■ 見通し 徐々に需要が回復し、各業界生産動向も回復していく予想

# 2024年9月期 業績予想

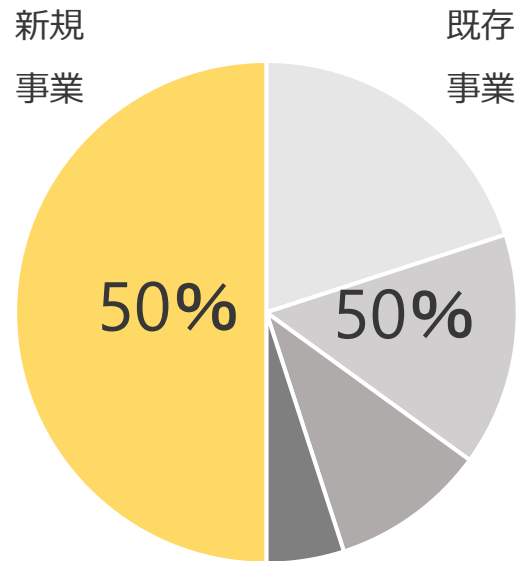


(百万円)

	23年9月期	24年9月期	実績比	
	実績(A)	予想(B)	(B-A)	(B-A)/A
売上高	8,285	<b>8,242</b>	▲ 43	▲0.5%
営業利益	395	<b>202</b>	▲ 193	▲48.8%
経常利益	386	<b>195</b>	▲ 191	▲49.2%
(利益率)	4.7%	<b>2.4%</b>	▲2.3pt	
親会社株主に帰属する当期純利益	307	<b>326</b>	18	6.3%
1株あたり当期純利益(円)	61.27	<b>65.24</b>	3.97	6.4%

売上高 : 貴金属取扱数量は増加するものの、売買を伴う取引が縮小  
 当期純利益 : ふくしま補助金の収入により増益

1. 2023年9月期 決算報告
2. 2024年9月期 通期見通し
3. 株主還元
4. LiB再生事業進捗



## ■ 外部環境の急速な変化に伴う事業構成の見直し

- ・ 既存事業ポートフォリオにおける貴金属事業の比率が高く、同事業の業績動向に大きく左右される。
- ・ 電子部品・デバイス業界の生産動向や貴金属相場の影響に大きく左右される。
- ・ 技術革新による既存事業の市場縮小懸念。

## ■ LiB再生事業の早期収益化

- ・ パートナーとの協働、サプライチェーンの構築
- ・ 量産化に向けた設備投資、製造技術の確立

## ■ 既存事業の収益力の向上

- ・ 貴金属事業はじめ、相場に頼らない純粋な「稼ぐ力」の強化を図る

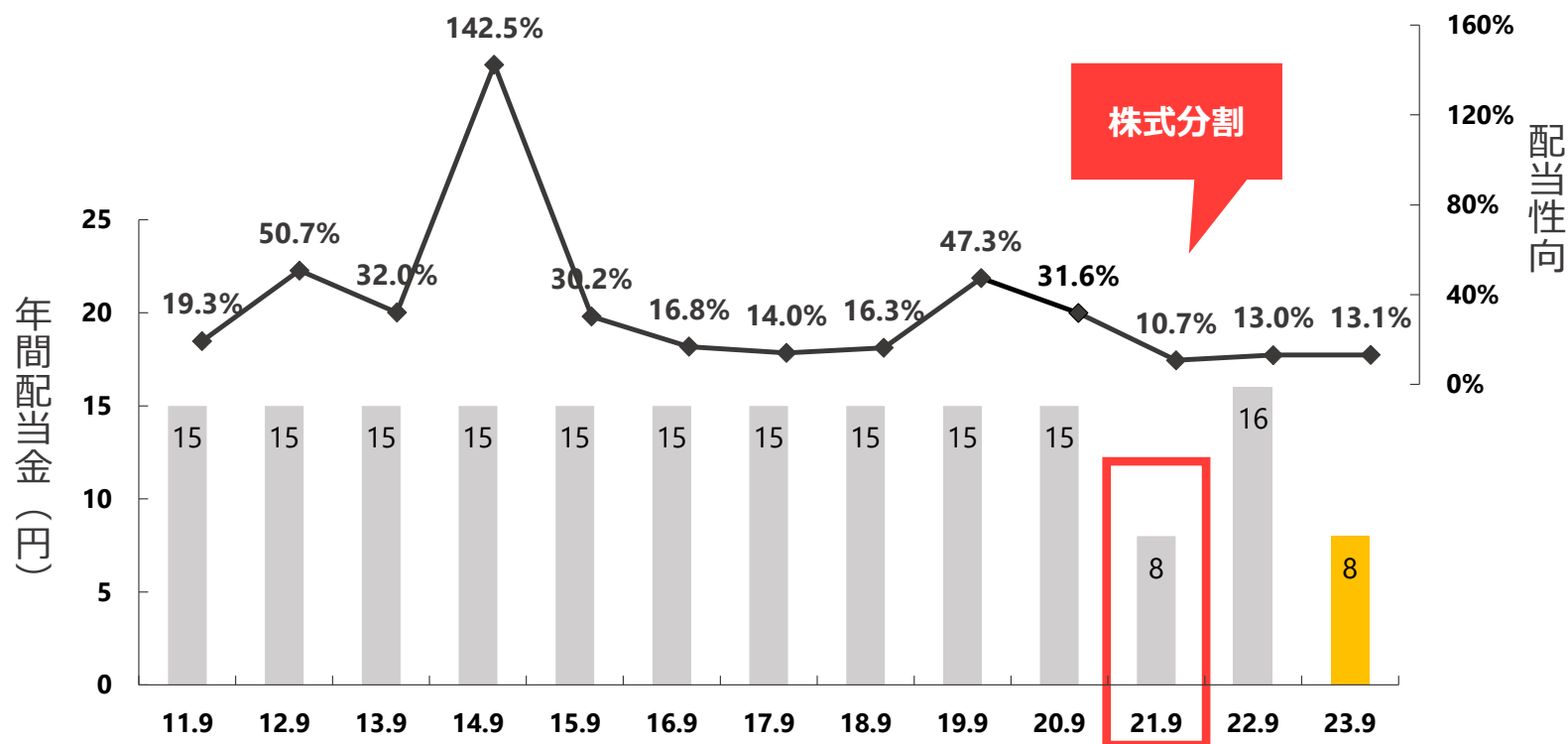
## ■ チャレンジを促進する組織風土の醸成

- ・ 人事制度改革に伴う評価体系のブラッシュアップ、人材教育制度の構築

# 株主還元目標と配当実績

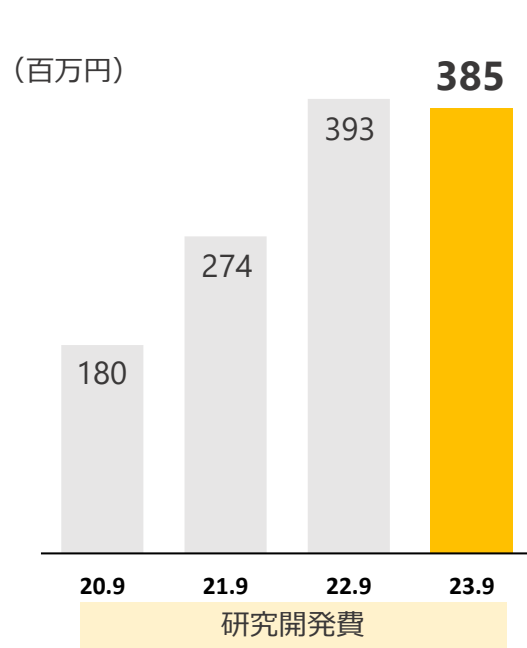


- ・株主に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、安定配当を継続。
- ・2023年9月期はROE7.4%。ROE10%をひとつの経営指標とする。
- ・業界内における競争に勝ち残るための企業体質強化、今後の事業展開に備えるための内部留保等を勘案しながら、業績に裏付けられた成果の配分を実施。

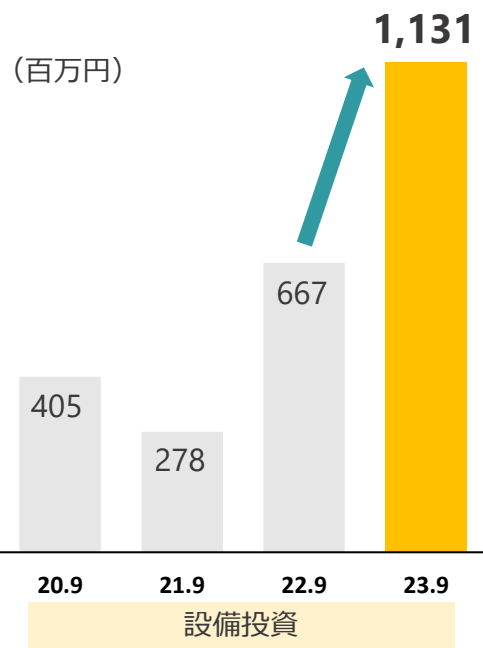


1. 2023年9月期 決算報告
2. 2024年9月期 通期見通し
3. 株主還元
4. LiB再生事業進捗

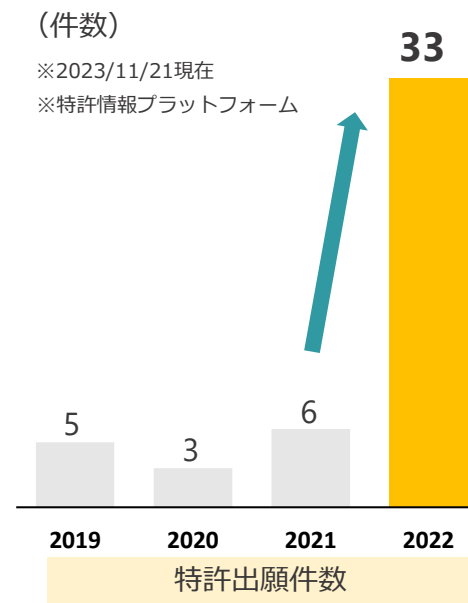
# 研究開発費・設備投資の推移と特許出願数



2023年9月期  
LiB再生事業の割合100%



2023年9月期  
前年同期比 +464百万円



2022年  
前年比 +27件

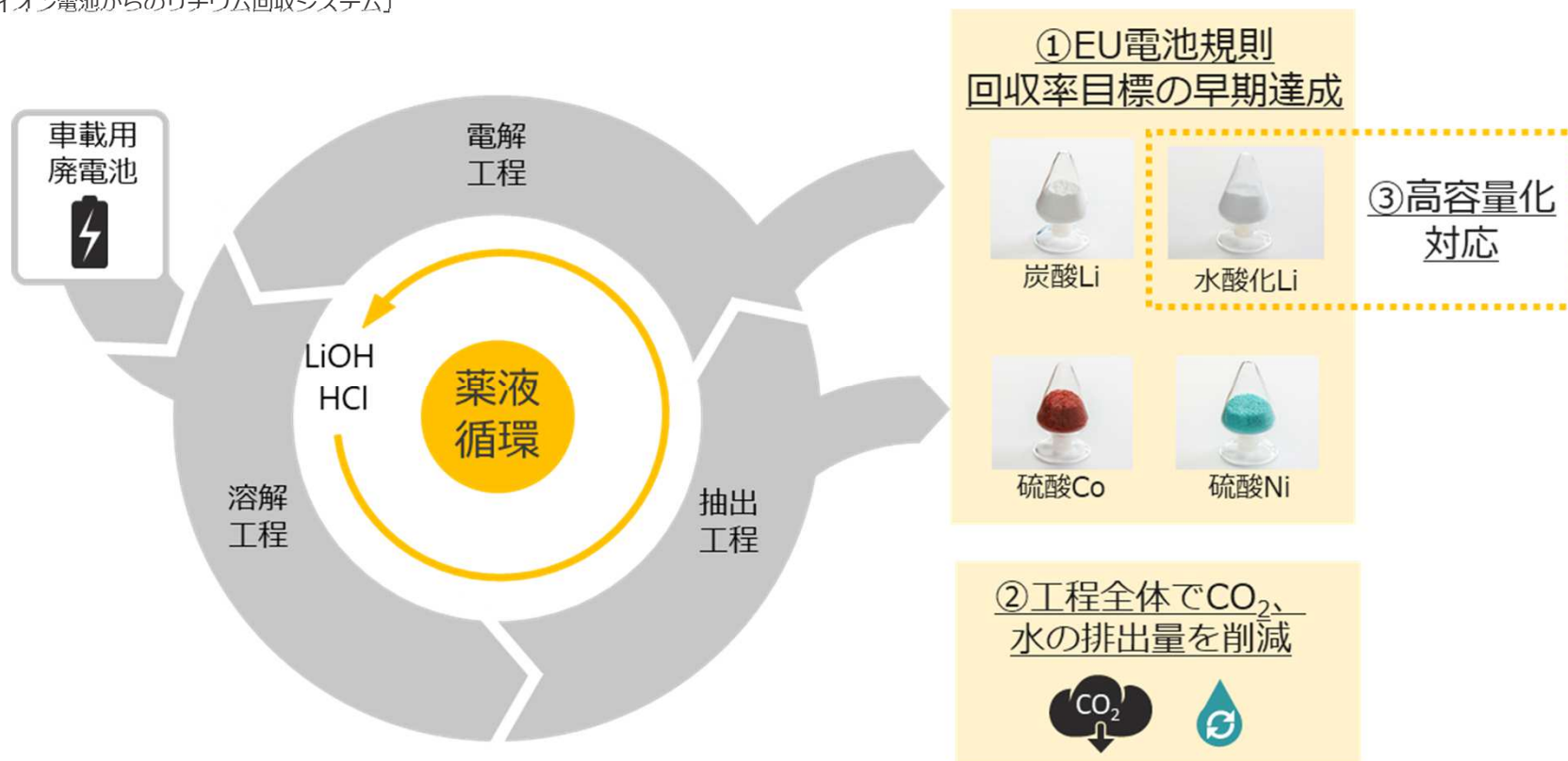
研究開発の成果は、特許というかたちで保護・蓄積  
⇒引き続き研究開発・設備投資を実施していく



# リチウム回収率がEU電池規則2031年目標を達成 (2023/8/10開示)



特許7060899, 特許7084669, 特許7097130  
「廃リチウムイオン電池からのリチウム回収システム」



## ■外部評価

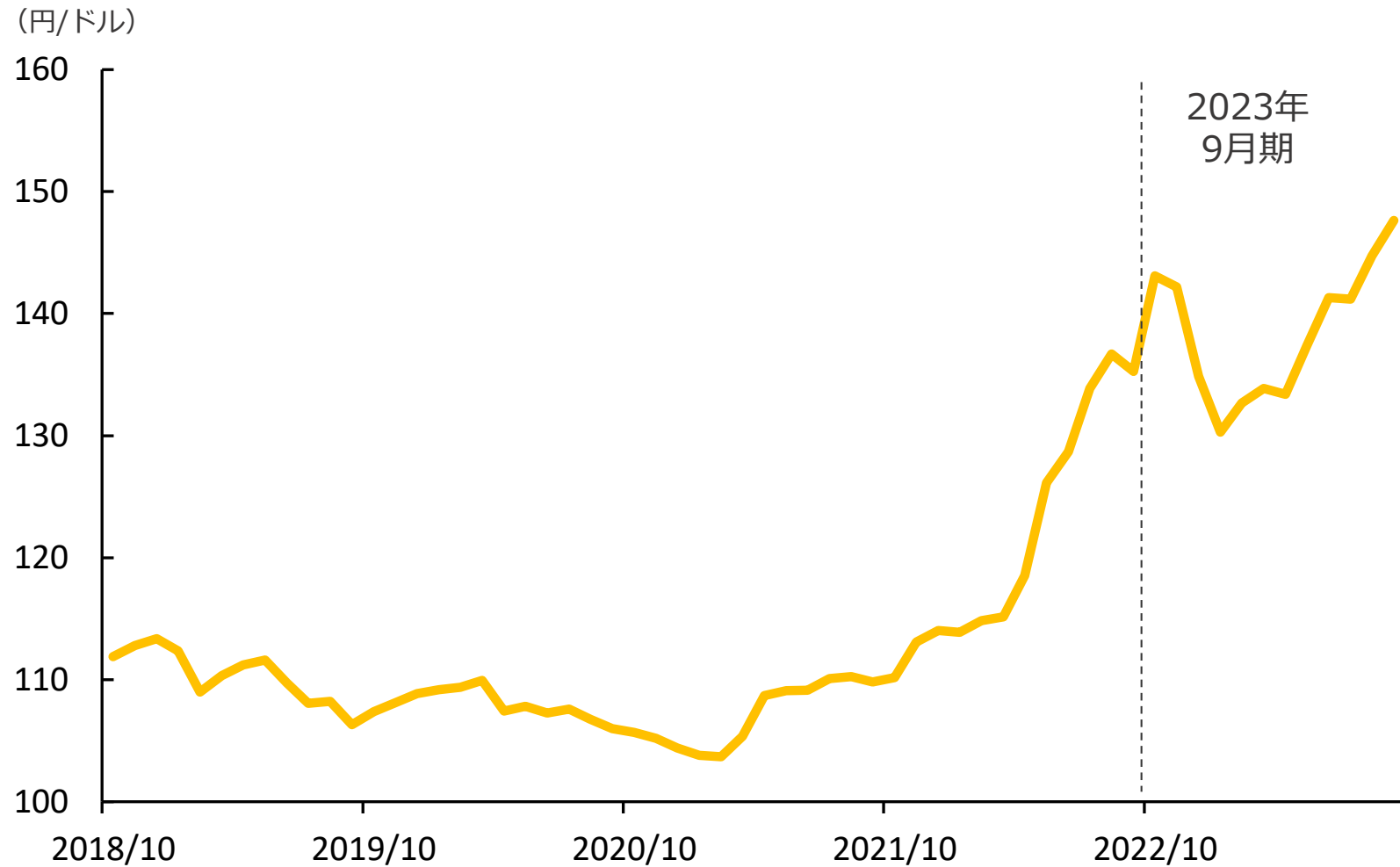
- ①電池メーカー「鉱山資源由来の原料を使用したLiBと同等レベルである」と評価
- ②経済産業省「蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術導入・開発促進事業補助金」に分類C（リサイクル）で採択 ※分類Cは当社のみ

- ✓ 本書には、当社および当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ✓ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められる会計原則に従って表示されています。既に行っておりまして今後の見通しに関する発表につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ✓ 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。



**ASK**

**株式会社アサカ理研**



# APPENDIX 株価推移

